

元日法要

修正会(しゅしょうえ)ご案内

令和六年一月一日(月)

午前十時三十分より

場所 徳泉寺本堂

内容 勤行・法話

新年を迎えて最初のお勤めを、
ご縁ある皆さんと一緒に修めます。

どうぞご家族揃ってお越しください。

今月のことば

自分が
自分になった
背景を知る

それが
恩を知るという
ことである
安田理深

真宗大谷派僧侶、安田理深さんの言葉です。今の自分は様々なものからできていて、親や周囲の人だけでなく、出会った言葉や音楽、文化や社会や歴史が私の背景と言えるかもしれません。そう思うと恩の深さを感じます。

境内の花々



コブシに雪

住職法話「目覚めの道」から

十二月同朋会より

県北の和尚さんとお話しをする機会がありました。お寺に若い方が来て「厄を払ってくれ。」と言う。これはどうもこのまま帰してはいけないのではないかと思ひ「いいから入っておい。」と招き入れて話を聞いたところ、「自分は光を持っていない。周りの人がまぶしく見える。どうして生きていかなければいけないのか。」と強く不安を訴えたそうです。

また、真宗の僧侶で小児科医でもある梶原敬一先生は「不安がこどもを弱らせているのではないか。」と言います。不安が大きいために、自分を強く感じる事ができない。そのことが自分の人生を歩んでいく感覚を見失しなわせているのではないだろうか。他の人が輝いて見える、輝きに対して憧れがある。一方で私は、と比較してしまうことで見えなくなってしまうものがあるように思います。「汝(なんじ)自ら(みずから)まさに知るべし。」あなた自身に自ら目覚めよ。という言葉があります。自分の人生を歩んでいく感覚に目覚めることで不安を自分の一部として受けとめられるのかもしれない。

同朋会 新年会のご案内

日 二月十日(第二土曜日)

時 正午から二時

場所 仙台ガーデンパレス(榴岡4丁目5)

会費 3500円

一月は同朋会をお休みします。そして二月には4年ぶりに、お食事をしながらみなさんと親睦を深める新年会を行いたいと思います。参加ご希望の方は
一月二十八日までに徳泉寺へご連絡ください。

ぼうもりのひとりごと

日記をつけるのは苦手ですが、今年はその日に
出会った人の名前を書いただけの手帳を一年間つけてみました。たくさんのお出あい感謝の
一年だと改めて気づかされました。